

# 和敬會

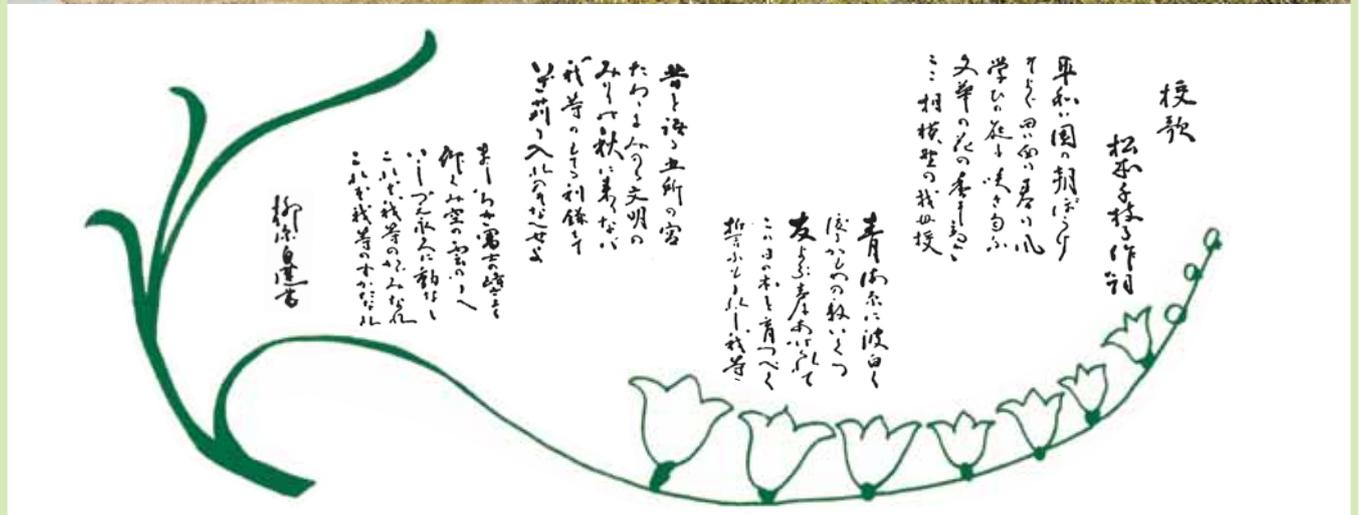
学祖 松本生太先生 筆

## 和敬会だより

2012.4.19 発刊



大船キャンパス



鎌倉女子大学和敬会

☎247-8511 鎌倉市岩瀬1420 ☎0467-44-2200

# 和敬会の皆さんへ



学校法人 鎌倉女子大学

理事長  
学 長 福井 一光

昨年の三月十一日から既に一年が経過しますが、皆さん如何お過ごしでしょうか。特に東北地域の和敬会の皆さんには大変なご苦労を経験なさったことと、遅ればせながら心からお見舞い申し上げます。

本格的な復旧・復興が遅々として進まない印象も受けますが、何卒新しい地域づくり、国づくりに向けてあい手をたずさえてご尽力くださいますようお願い申し上げます。

お蔭さまで、震災直後の計画停電実施時の状態はとうに脱し、本学の教育活動は、すっかり通常の状態に戻っております。

建物の被害も、キャンパス全てにわたって、ごく軽微なものに止まり、特にお知らせ

せしなければならぬこともありませんでした。

さて、少し新しい動きについてお知らせしておきましょう。一つは、大船キャンパスに新しい学術研究棟を建設する運びとなり、工事も順調に進行しています。今年の夏には、六階建ての独立研究棟が東山の北壁部分に建ち上がります。これにより、先生方の研究環境を初め、大船キャンパス完成時の平成十五年から約八年が経過し、大学院、学部・学科の増設などもあり、やや手狭になりつつあった事務局の活動にも余裕が出て来るはずですよ。

もう一つは、インターネットニュースを配信する株式会社ジェイ・キャストと協

# 立ち直る力

——レジリエンス——



和敬会 会長

金子 小夜美

和敬会会員のみなさま、お元気で過ごしていることと存じます。

昨年は様々な、心を痛めるできごとがありました。今年はみなさまにおかれましても、平穏で実りある年でありますようにと願っています。

Respect	うやまう
Responsibility	責任をもつ
Relationships	かかわる
Resilience	立ち直る

この「4つのR」は人とかかわり、人が成長していくときに大切にしたい心の持ち方や行動であると思います。

特に Resilience レジリエンスとは

「弾力性・困難な状況から立ち直る力」であり、ポジティブな思い・姿勢とセットになつて働くと言われています。

充実した人生を送りたい。しかし、どんな事でも全てうまくいくとは限らない……その時、ポジティブな感情を取り戻す努力をすることによって「立ち直る力」が働き、ネガティブな覆いが少しずつ取り除かれ、沈んでいく心にブレーキがかかってくるのだそうです。「立ち直る力」は創造的で豊かな時間を導いてくれるしなやかさや適応していく力なのです。

そして、レジリエンス「立ち直る力」はだれにでも備わっていて、十分に蓄えられ

して、本学の教授陣が提供する授業を、同社が先生方の監修の下にWEBコンテンツとして制作し、「J-CAST」ニュースサイト (<http://www.j-cast.com/>)を通じて定期的に配信する事業を始めました。この事業を行う目的は、広く社会に本学の教育研究資源を還元し、併せて本学並びに教員各位の活動やタレントを紹介するところにあります。

新聞・テレビに代わって今後ますます成長する可能性をもつ情報配信媒体を活用した先駆的な取り組みです。それもこれも本学の発展の証とお受け止め頂ければ、幸いに存じます。

ているのだそうです。

この一人一人に蓄えられている力を発揮

- していくには――
  - \*今いる状況に 良さを見いだすこと
  - \*よいことを 十分に味わうこと
  - \*好きなことに 夢中になること
  - \*将来を 夢見ること
  - \*自分の強みを 活かすこと
  - \*他者との絆(尊重・支援・信頼等)をつくること
- そして、『自分への自信をもつこと』です。

Resilience 「立ち直る力」

みなさんの中にある大切な力なのです。今年も、あせらずゆっくり歩みましょう。

## 会館の窓から



和敬会事務局長

菅原 憲子

平成二十三年三月十一日

四月十九日発刊の「和敬会だより」の校正・最終打ち合わせを済ませ、担当の渡辺和恵さん（大学家政学部卒）も印刷依頼の業者の方も帰られ、私は一人、松本講堂横の「松本生太記念学舎」内の「和敬会事務室」にありました。

ホッとした 間もなく

大きな揺れ

木造建築の天井がギシギシときしみ、「倒壊するのかな」と思い、手早く資料等を片付け、外に出ました。

足元が揺れ、建物がきしむ音

地面が 揺れる

はじめて体験しました。

建物が崩れるのか、とも思いました。

幸い校舎・学校の施設等には支障もありません。

せんでしたが「学園の杜」に建てられている学祖 松本 生太先生の座右銘「一日一善」と、先生が教育の道に進まれるとき、

学祖の令夫人・校歌の作詞者でもあられる千枝子先生がおくられたという「をとめらをおしふるといふ おおきわざ いのち

をかけてなさしめたまへ」のお歌の刻まれた石碑の礎石がほんの少々揺らいだ程度と庭園の石灯籠が崩れただけでなんの支障もありませんでした。

「一日一善」の塔は、庭園のやや中ほどに移して安置され、学生・生徒児童たちを見守り、日々学びの道をしめしておられます。

毎年学園の創立記念日の四月十九日発刊皆様のお手許にお送りしております

フランス政府から招待されて、大学生3人を連れて南フランスを二週間、なぎなたを振って見せたことは、誠に貴重な経験になりました。

永い人生の大半をなぎなたに打ち込んできた私ですが、最近足痛めて充分になぎなたを振れません、未だに中学校や多摩市の武道館で稽古に來られる人達を相手に練習を行っております。

何とか生き甲斐有る生活を送りながら、九十二歳の年齢を迎えました。なぎなたに感謝しつつ、余生を送りたいと願っています。

突然の原稿依頼に快諾下さった堤先生に感謝します。和敬会会員の励みになります。お元気でご活躍ください。

\* \* \*

## 92歳

### なぎなたに感謝



堤 敏子

この度は和敬会だよりを頂き、とても嬉しく、懐かしく拝見いたしました。私の仕事というか、出来る事と言ったら「なぎなた」を振るう事しか無いのですが、終戦になって、武道が出来なくなつた為に、私の生き甲斐は無くなつてしまい、わびしい毎日を通して、ある時に救って頂いたのが松本尚先生でした。

「堤さん！うちの生徒に薙刀を教えるやってください。強くならなくても良いから、人に接するときの礼儀、挨拶の仕方を指導して欲しいのです。」とおっしゃって下さり、始めたのです。

本当にあの頃（終戦後）は何処の中学生でも、礼儀という事が理解されていなかった様ですね。おかげでなぎなたを覚えて、挨拶の仕方を心得る後輩が大勢出来ました。

和敬会だより

その数 二〇一一年は二八、七一八通

震災の被害地にお住まいの方々にも避難先まで配達して下さった所もあつたようですが、毎年一千余通が「配達不能」の付箋がはられて戻ってきます。

毎年創立記念日の四月十九日付で発送し、ホッとしている間もなく戻ってくる郵便物の山にガツカリし、ため息をついています。個人情報云々、とやらで転居されるとなかなか新住所にお届け出来がたい状況になっており、空しく一千余通を廃棄の状況です。

住所変更の際、ご一報いただければ幸いです。

〒247-8511

鎌倉市岩瀬一四二〇

鎌倉女子大学内 和敬会宛



# 初等部



## 家庭科クラブ

家庭科クラブは、調理をしたり、小物を作ったりなどのモノづくりを通して異学年間の交流を深めています。月1回という非常に限られた回数の中での活動ですが、やる気に満ちた部員が集まるクラブ活動の時間は、大変活気に満ち溢れています。

これまでに、パフェ、あんみつ、ナップザックを作りました。今後もいろいろなモノ作りに挑戦していく初等部家庭科クラブの活躍をご期待ください。



## なぎなたクラブ

初等部なぎなたクラブは毎週木曜日の放課後に練習をしています。2年生から6年生まで、寒い冬も暑い夏も皆で声をかけ合い、力を合わせて一生懸命頑張っています。

夏には日本武道館で行われる全日本少年少女なぎなた錬成大会があります。6年生の最後の大きな大会として毎年上位進出を目指しています。その他にも神奈川や鎌倉での大会、昇級を目指すなぎなた審査会などに毎年参加しています。これからも日々の練習で心と体を鍛え、大会で力を発揮していけたらと思っています。



# クラブ

# 短大・大学



## バスケットボール部

マネージャー 佐藤 恵理さん

関東大学女子バスケット連盟と神奈川学生バスケットボール連盟があり、関東では3部リーグ、神奈川では1部リーグに所属しています。それぞれに春季・秋季の大会があり、順位を上げることを目標に日々練習に励んでいます。

試合以外には、子どもたちと関わることを目的にボランティアをしています。昨年冬には、鎌倉市の体育館をお借りして私たちが考案した遊びを子どもたちに提供し、楽しみながら子どもとふれあう機会を持ちました。

学友会は、学生により自主的に運営されている課外活動です。現在、スポーツ・文化・教育・芸術分野の29のサークルが活動を展開しています。学部や学科を超えて同好の学生が結集し和やかな雰囲気の中、学内のみならず地域社会でも積極的に活動しています。

成果発表の場のひとつである「第17回みどり祭」(平成23年11月12日、13日開催)で、3サークルの代表に話を伺いました。想像以上の活動の幅広さや熱意を感じるとともに、先輩から受け継がれた伝統と愛情が伝わってきました。



## 中・高等部



### コーラス部

コーラス部は、数年ぶりにNHKコンクールに出場しました。本番の数日前には、学園主・松本紀子先生が直々に激励と発声指導をくださり、意気込みが一層高まりました。心をひとつにして歌うことによって多くの感動を伝えようと、今日も歌声を響かせています。

### 弓道部

平成16年校舎リニューアルにともない、弓道場「至藝館」が完成しました。

素晴らしい環境のもと、心の成長と技の向上を目指して稽古に励んでいます。一昨年、昨年、今年と3年連続でインターハイに出場しました。



# サー



### シルフィードアンサンブル

主将 喜多 埜菜美さん

みんなが揃う時間に、定期コンサートに向けての練習をしています。

定期コンサートは、みどり祭での公演のほか、コミュニティモールで開催する木曜コンサートで演奏しています。また、逗子小学校ふれあいスクールから毎年2月にコンサートの依頼があります。

フルート、クラリネット、ハープが基本になりますが、ピアノを加えることで演奏に厚みを出しています。

### 児童文化部 安田 亜弥子さん

小学校や養護学校に定期的に伺い、人形劇や読み聞かせをしています。小学校では昼休みに図書館に来る子どもとも関わっています。また、定期的な訪問以外にも、学生センターを通しての依頼で活動することもあります。

楽しいことは定期的に学校に伺うことで、今日はこんなことを話した、次はこういうことを話したいと、継続的に子どもとのふれあいをもつことができることです。子どもが私たちの顔を覚えてくれることがうれしく、励みとなり、どんどんと意欲が湧いてきます。



# 支部だより

第一回

## 中国・四国支部

### アンチエイジング支部

広島市 山本 明美

「久しぶりに皆で集まりましたよ！」中国・四国支部では、会員の方から、そんな声があがるたびに、親睦会をしております。集まると、いつも久しぶりに会う仲間たちの喜びの声が、あちこちで飛び交い、あっという間に時間が過ぎていきます。今回も、去年十月二十九日、さわやかな秋晴れの中、皆で集まり会食に花を咲かせ、気がついたら夕方になっていました。写真はその時の様子です。



さて、私もこの十二年間、支部会発足時より、支部長を務めさせていただきましたが（老いには、かなわず）支部の若返りを考え、今回交代をさせて頂くことにしました。次期支部長は、五十四年卒、西迫喜久子さんです。西迫さんは快く引き受けて下さり、又、会員の信頼も厚く、支部の明るく若々しい未来が約束されたようで、私自身とても嬉しく思っています。これまで支えて下さった皆様、本当にありがとうございました。最後にになりましたが、皆様方のご健勝とご多幸、より一層の母校の栄を祈念しております。

### なつかしい思い出

備前市 中司 芳江

私は、昭和四十二年春、岡山から「奉仕と感謝」の建学理念に共感して入学し、小学校の先生になる夢を抱いて、多くの仲間と共に二年学びました。

当時、キャンパスは岩瀬にあり、周辺には住宅も少なく閑静な地でした。登下校の際、校舎に一礼・黒の制服着用・月曜日は幼稚園から大学までの合同朝礼、昼食は校内の出張パン屋さんで買って食べる等、現在の大学生活とは比較にならないものでしたが、学校全体に温かい空気が満ちていました。特に、私の忘れられない思い出の一つは、学父松本尚先生が寮生達をご自宅に招き、家族団らんぬくもりを提供して下さったことでした。

卒業後、夢をかなえ、四十年教職の道を歩きましたが、心の中には京浜で育まれた多くの尊い教えと誇りがありました。あれから長い年月が経ちましたが、今なお、学園主松本紀子先生や恩師菅原憲子先生がお元気で母校を支えご活躍のご様子で、大学との長くて深い絆を感じています。

これからも支部の親睦会等に出席し絆を深めていきたいと思っております。

総会の支部長会議で、ご意見をいろいろいただきました。各支部の活動を「支部だより」でお届けします。

第一回は、中国・四国支部にお願いしました。ご寄稿ありがとうございました。素敵なページに仕上がりました。次回は、関西支部にお願いします。

平成22年度 和敬会収支決算書

収入の部

費目	金額
同窓会費	8,413,000
預金利子	563,038
雑収入	4,900
前年度繰越金	7,888,817
<b>合計</b>	<b>16,869,755</b>

支出の部

費目	金額
事業費	
和敬会便り出版費	3,759,591
和敬会総会経費	684,323
事務費	222,000
通信・連絡費	39,153
設備・備品費	31,590
消耗品費	108,970
運営費	419,720
慶弔費	31,810
その他	20,179
合計	5,317,336
繰越金	11,552,419
<b>合計</b>	<b>16,869,755</b>

以上収支決算について公正、妥当であると認め、相違ないことを報告いたします。

平成23年12月20日

監事

外濱美重子

地方支部年間計画書

九州支部	支部和敬会開催予定 支部だより発行
中国・四国支部	定例親睦会（11月予定）
北海道支部	名簿整理 各ブロックの調整 支部会開催
北陸支部	各県（富山・石川・福井）代表により 役員会及び運営委員会支部 総会親睦会
信越支部	幹事会支部総会（24年11月予定）
関西支部	支部会開催予定

支部長からのお願い

各支部とも、同窓会を開きたいと考えています。名簿を作成したいので、是非各部長まで、ご連絡ください。

和敬会会館ご利用について

皆様の会館ですので、ご利用なさる際はご相談に応じます。

- 曜日 月曜日～金曜日（土・日についてもご希望の際は、ご相談下さい）
- 時間 午前10時～午後4時
- 料金 1人100円（当日徴収させていただきます）
- 食事 持ち込み可能です。
- 申し込み方法 日時、人数、代表者氏名、住所、電話番号を記載の上、葉書にて下記へお申し込み下さい。  
〒247-8511 鎌倉市岩瀬1420 鎌倉女子大学 和敬会

※おねがい…電話での申し込み、問い合わせは間違いがおこりやすいので文書でお願いいたします。

訃報

竹内 清 先生

理科（生物）ご担当  
平成二十三年一月十二日 ご逝去

山東 せつ子 先生

食品学ご担当  
平成二十三年三月九日 ご逝去

三浦 隆 先生

法学ご担当  
平成二十三年八月二十三日 ご逝去

大澤 光 先生

経済学ご担当  
平成二十三年十一月十一日 ご逝去

ご冥福をお祈りいたします

フリージア基金

平成22年の「和敬会だより」で、クラス会の解散等の際の残金を本会のフリージア基金としてお受けし、会で有効に使用させていただくこととし、お知らせしました。

今年、左の通り基金が寄せられました。ご報告します。

3,872円

昭和39年 高等部卒

連絡は、和敬会事務局まで。  
04671441211



# 第17回鎌倉女子大学学園祭

大船キャンパス 11月12日(土)・13日(日)  
岩瀬キャンパス 11月5日(土)・6日(日)



# 鎌倉女子大学

大船キャンパス	大学院	大学	家政学部	児童学部	教育学部	短期大学部
	〒247-8512 鎌倉市大船6丁目1番3号 TEL.0467-44-2111 (代表)					JR[大船駅]下車、徒歩8分
岩瀬キャンパス	高等部	中等部	初等部	幼稚部		
	〒247-8511 鎌倉市岩瀬1420 TEL.0467-44-2200 (代表)				JR[大船駅]下車、バス約10分	